

## 大好評につき、「震災時安全ハンドブック」を増刷します

～ 7月9日(月)から順次、計20万部を追加発行～

東京急行電鉄株式会社

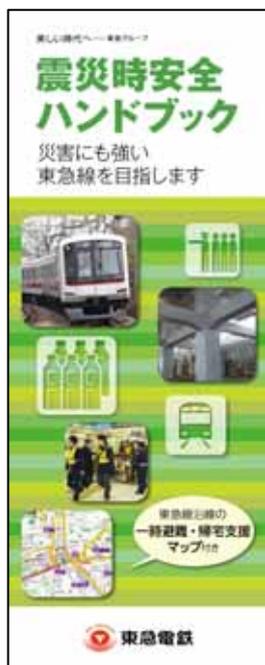
当社は、6月21日から東急線各駅ならびに沿線の東急ストア60店舗で無料配布している「震災時安全ハンドブック」(以下、ハンドブック)を7月9日(月)に20万部、追加発行します。これは、発行初日で約9万部を配布し、多くの方からご好評いただいていることから増刷を決定したものです。

このハンドブックは、大規模な地震が発生した際、お客さまに落ち着いて行動していただくことを目的に発行するものです。震災発生時にお客さまにご協力いただきたいこと、大規模地震に備えた東急線のさまざまな取り組み、東急線沿線の駅周辺地図を一冊にまとめた構成になっています。

駅周辺地図では、大規模地震発生時、列車の運行が再開するまでの間の一時滞在施設や広域避難場所を東急線沿線を37エリア(別紙2を参照)に区分けして表記しています。また、駅・高架橋・トンネルの耐震補強工事といった施設面での減災対策や各種訓練など、これまで当社が進めてきたさまざまな取り組みも紹介しています。

これまで取り組んできた耐震補強工事などの安全対策を継続していくことに加え、この取り組みにより、さらに安全・安心な東急線を目指します。

「震災時安全ハンドブック」の詳細は別紙のとおりです。



ハンドブック表紙



駅で掲出するポスター

以上

【別紙1】

「震災時安全ハンドブック」

1. 配布場所 ・東急線各駅(世田谷線・こどもの国線の一部の駅を除く)  
・沿線の東急ストア60店舗 店舗一覧は別紙3を参照
2. 増刷部数 20万部(カラー、全88ページ) 初回発行部数とあわせて、計35万部を発行
3. 発行元 東京急行電鉄株式会社
4. 地図調製 株式会社昭文社
5. 内 容
  - 【地震が発生した際のお客さまへのお願い】
    - 駅構内から避難する場合
    - 列車が駅間に停車した場合
    - 運転再開まで時間を要する場合
  - 【大規模地震に備えた東急線の取り組み】
    - 耐震補強工事
    - 地下駅の火災対策
    - 早期地震警報システム
    - 運行情報などのご案内
    - 停電対策
  - 【東急線沿線の一時避難・帰宅支援マップ】
    - 東急線沿線を37エリアに区分けした地図
    - 一時滞在施設や広域避難場所、帰宅支援ルートや危険箇所などを表記

「大規模地震に備えた東急線の取り組み」は【参考資料】をご参照ください。

以 上

「一時避難・帰宅支援マップの掲載エリア」

東急線沿線を37エリアに区分けした地図で表記しています。エリアごとの掲載範囲は以下の索引図をご参照ください。





【別紙3】

「東急ストアの店舗一覧(ハンドブック配布店舗)」

路線	最寄り駅	店舗名	路線	最寄り駅	店舗名
東横線	中目黒	中目黒本店東急ストア	池上線	五反田	五反田東急ストア
	中目黒	プレッセ中目黒店		荏原中延	荏原中延東急ストア
	祐天寺	祐天寺東急ストア		長原	長原東急ストア
	学芸大学	学芸大学東急ストア		洗足池	上池台東急ストア
	学芸大学	駒沢大学通り野沢東急ストア		雪が谷大塚	雪が谷東急ストア
	都立大学	都立大学東急ストア		久が原	久が原東急ストア
	自由が丘	フレル・ウィズ自由が丘東急ストア	東急多摩川線	蒲田	蒲田東急ストア
	田園調布	プレッセ田園調布店		蒲田	蒲田プラザ東急ストア
	新丸子	新丸子東急ストア		矢口渡	矢口東急ストア
	武蔵小杉	武蔵小杉東急ストア	東急線 以外	白金台	白金台東急ストア
	綱島	綱島東急ストア		西馬込	馬込東急ストア
	綱島	綱島駅前東急ストア		大森	大森とうきゅう
	大倉山	東急ストアフードステーション大倉山店		仲町台	仲町台東急ストア
	菊名	菊名東急ストア		東林間	東林間東急ストア
	横浜	横浜地下街東急ストア		中山	中山とうきゅう
目黒	目黒東急ストア	向ヶ丘遊園		向ヶ丘遊園東急ストア	
目黒	清水台東急ストア	町田	町田東急ストア		
目黒	プレッセ目黒店				
不動前	不動前東急ストア				
武蔵小山	武蔵小山東急ストア				
武蔵小山	パルム武蔵小山東急ストア				
武蔵小山	武蔵小山駅ビル東急ストア				
西小山	東急ストアフードステーション西小山店				
洗足	洗足東急ストア				
大岡山	大岡山東急ストア				
田園都市線	三軒茶屋	三軒茶屋とうきゅう			
	二子玉川	二子玉川ライズ東急ストア			
	溝の口	溝の口東急ストア			
	梶が谷	梶が谷東急ストア			
	宮崎台	宮崎台東急ストア			
	宮前平	宮前平東急ストア			
	鷺沼	フレルさぎ沼東急ストア			
	たまプラーザ	たまプラーザテラス東急ストア			
	あざみ野	あざみ野東急ストア			
	あざみ野	すすき野とうきゅう			
	江田	江田東急ストア			
	市が尾	市が尾東急ストア			
	藤が丘	藤が丘東急ストア			
	青葉台	たちばな台東急ストア			
	田奈	田奈東急ストア			
	つくし野	つくし野東急ストア			
	南町田	南町田東急ストア			
中央林間	中央林間とうきゅう				

【参考資料】

## 「大規模地震に備えた東急線の取り組み」の概要

当社は、「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の責務であるという認識のもと、これまでも積極的に安全対策投資を進めてきました。これをさらに進めるため、2011年度には安全に関する方針を決定する「鉄道安全戦略推進会議」を発足させました。大規模災害などの発生も想定し、地震発生後の初期対応の再構築や減災対策の推進など、より戦略的な安全対策を策定・実施しています。

### 1. 耐震補強工事の推進

1995年に発生した阪神・淡路大震災で鉄道施設が大きな被害を受けたことから、同年、国土交通省(旧運輸省)から高架橋やトンネルなどの耐震性を高める工事の通達が出され、対象となる箇所耐震補強を完了しています。また、東急線では、その後に国土交通省から出された通達基準に加え、災害時の復旧困難性や老朽化なども考慮して、通達基準対象外の箇所も耐震性を検証し、順次補強工事を行っています。さらに、東日本大震災を踏まえて、今後発生が予想される首都直下地震に備え、現在進めている駅・高架橋・トンネルなどの耐震補強計画を見直し、工事完了時期を2年間前倒しました。また、これまでの取り組みから対象範囲を拡大して、高架橋・トンネル・盛土・擁壁などのさらなる耐震対策にも着手します。



耐震補強された高架橋



地下駅での耐震補強

電路柱や変電所など、重要な電気設備の被害軽減策の推進

変電所や配電所の耐震補強だけでなく、列車運行に不可欠な電車線(列車に送電する線)を支える電路柱や信号設備の耐震補強なども推進しています。特に、電路柱は2006年度から耐震診断を開始し、補強が必要とされた箇所は補強工事を実施し、現在、全電路柱の約8割が完了しています。

### 2. 各種訓練

大規模地震の発生時だけでなく、駅でテロや火災が発生した場合にも備えて、お客さまの避難誘導を迅速・的確に行えるよう、警察署や消防署などとも連携した訓練を定期的に行っています。

その他、長時間にわたって駅間に停止した列車からの避難誘導訓練や、エレベーターにお客さまが閉じ込められた事態を想定した救出訓練、AED(自動体外式除細動器)を使用した応急手当訓練など、日ごろからさまざまな訓練を行っています。



### **3. 帰宅が困難なお客さまへの対応**

#### (1) 飲料水・非常食、簡易ブランケット、簡易トイレの備蓄

大規模地震などの災害が発生した際、帰宅が困難になったお客さま向けに備蓄を進めています。特に飲料水・非常食、簡易ブランケットは、今後、ターミナル駅を中心に全線で3万人分を備蓄します。

お客さま向けの備蓄品：飲料水、非常食、簡易ブランケット、使い捨て簡易トイレ



写真はイメージです。

#### (2) 一時的な待機場所の提供

行政機関が指定する「一時滞在施設」へ移動されるまでの一時的な待機場所として、点検後、安全が確認された駅構内をお客さまに提供できるように行政機関との連携を図っていきます。場所の確保が困難な駅でも、可能な限り、トイレの貸し出しや具合の悪いお客さまへの対応を行います。

一時滞在施設：駅周辺の滞留者や路上などの屋外で被災した外出者のうち、帰宅が可能になるまで待機する場所がない方を一時的に受け入れる施設  
(庁舎などの公的施設、集会場やビルのエントランスホールなど)

### **4. 運行情報などのご案内**

正確・迅速な情報収集とお客さまへのご案内のために、通信設備のバックアップ回線や代替設備の再整備のほか、行政や他の鉄道会社との専用回線の構築を進めています。これらを活用し、東急線の運行情報だけでなく、鉄道各社の運行情報や一時滞在施設の開設状況など、各駅で随時お客さまへの情報提供に努めます。

### **5. 従業員の早期招集体制の再構築**

大規模地震発生時にも、お客さまへのご案内や点検復旧などにかかる要員を迅速に確保するために、従業員の早期招集体制を整えていますが、さらに強化しました。早期に社員を招集することで、お客さまの安全確保とすみやかな運転再開を目指します。

以 上